

平成28年度 外国人招へい研究者(短期・第2回) 採用者一覧

※通知文書は順次発送いたします。8月中旬までに届かない場合は、日本学術振興会人物交流課までご連絡ください。

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
BORRAS-HIDALGO Orlando キューバ	寺内 良平 京大・教授	遺伝育種科学	ダイズ-ダイズサビ病菌相互作用のRNA-seq解析	2016/10/20~2016/12/18 (60日間)
GELVIN Stanton Bruce 米国	土岐 精一 農研機構・ユニット長	遺伝育種科学	アグロバクテリウムを介した遺伝子導入の効率化と植物ゲノム編集技術の向上	2017/01/15~2017/03/15 (60日間)
KAVGACI Ali トルコ	松井 哲哉 森林総研・気候変動研究室長	森林科学	トルコのブナ林における温暖化影響評価	2016/10/01~2016/10/16 (16日間)
FEUNTEUN Eric フランス	塚本 勝巳 日大・教授	水圏生命科学	南太平洋におけるウナギ属レプトセファルスの分布生態に関する研究	2017/01/10~2017/02/10 (32日間)
KRAGT Marit Ellen オランダ	合崎 英男 北大・准教授	経営・経済農学	選択実験を利用した自然資源管理の社会・環境影響評価	2017/01/09~2017/02/04 (27日間)
TANG Haoye 中国	小林 和彦 東大・教授	農業環境・情報工学	オゾン・二酸化炭素の増加と気温上昇の相互作用がアジアの米生産に及ぼす影響	2017/01/24~2017/02/23 (31日間)
LAMARRE Jonathan カナダ	山手 丈至 大阪府立大・教授	獣医学	M1/M2マクロファージ分極化介在性miRNAとアウトファジーによる肝毒性発現	2017/01/15~2017/01/30 (16日間)
SIRISATTHA Rungaroon Waditee タイ	高倍 昭洋 名城大・教授	環境農学(含ランドスケープ科学)	耐塩性藻類のイオンおよび浸透圧制御システムの解明	2017/01/03~2017/02/11 (40日間)
TANINO Karen Kikumi カナダ	上村 松生 岩手大・教授	応用分子細胞生物学	簡易で応用可能な植物の環境ストレス耐性増強法の検討	2017/03/15~2017/05/13 (60日間)